

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員および研究員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第12回日本ナス科コンソーシアム年会
演題名	植物切断組織の癒合と植物ホルモンの関与
発表者	○ <u>朝比奈雅志</u> 、青木亮※、久保直樹※、鈴木英理奈※、恒川優穂※、 <u>松岡啓太</u> 、佐藤忍(植物生理学研究室)
内容	これまでに我々は、作物生産において土壌病害を回避する目的で接ぎ木が行われているキュウリやトマトを用いて、切断された胚軸が癒合する過程を生理学的に解析し、子葉から供給されるジベレリンが皮層の細胞分裂開始に必須であること、細胞接着に働くペクチンの合成を促進することを明らかにした。また、導管液によって供給されるホウ素などの無機元素も、組織癒合に必須なことも示した。現在、トマトなどにおける切断組織の癒合や接ぎ木接着時における植物ホルモンの関与・分子メカニズム解明を目指して研究を進めている。以上の研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業、科学研究費補助金(若手B)による支援を受けて行ったものである。
関連画像	 <p>実験に用いるトマトの栽培の様子</p>